

# 地域歴史遺産としての 怪異・妖怪伝承

園田学園大学と神戸大学は、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の「ひょうご神戸プラットフォーム」の大学連携事業として、地域歴史遺産に関するシンポジウムを開催してきた。第1回目は、2016年7月に「地域歴史遺産としての怪異伝承」と題し開催した。本学の所在する尼崎市の市制100周年を記念して、東アジア怪異学会と尼崎市立地域研究史料館(現、尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズ)の協力のもと編集した『尼崎百物語』を起点に、怪異という切り口から、身近で見過ごされてきた地域歴史遺産を見直し、探求することの重要性を再認識することができた。そして、このシンポジウムも10回目を迎え、その間、尼崎城、博物館と公文書館、日本遺産、遺跡、地場野菜、災害、廃村等のテーマで地域歴史遺産の保存と活用について考えてきた。今回は、怪異・妖怪伝承を取り上げ、兵庫県福崎町、奈良県、愛知県での事例をふまえ、怪異・妖怪伝承をどのように再発見・再評価し、地域歴史遺産として、次世代に継承することができるのかについて考えたい。

## < 内容 >

開会の言葉 園田学園大学学長 大江篤

基調講演 大江篤(本学学長、東アジア怪異学会代表)

怪異・妖怪伝承と地域歴史遺産

——文化資源としての再評価と活用

報告 14:00～15:00 (20分×3)

○井上舞(神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター特命講師)

福崎の「妖怪」まちづくり、と柳田國男

○木下昌美(奈良妖怪新聞主筆)

奈良県の妖怪 妖怪新聞とツアー

○島田尚幸(あいち妖怪保存会共同代表)

地域に息づく妖怪文化 地域を彩る妖怪文化

～愛知の妖怪活動を通して見えたこと～

ディスカッション 司会 久禮旦雄(京都産業大学教授)

閉会の言葉 神戸大学副学長・兵庫県立歴史博物館長 奥村弘



日時: 2026年3月1日 日 午後1時30分～4時 参加費無料

場所: 園田学園大学 4号館(櫛和館)4201教室

主催: 園田学園大学 共催: 神戸大学地域連携推進本部 後援: 兵庫県教育委員会、尼崎市

●定員・受付 定員100名、右記QRコードより事前申込要(2/26締切)

●お問い合わせ 園田学園大学 社会連携センター 担当: 小林 理恵子

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

TEL: 06-6429-9921(直通) FAX: 06-6421-7009

E-mail: syakairenkei@sonoda-u.ac.jp

